

閣

大臣

大官

大官

大官

大官

十月十三日

第一號

陸軍大臣寺内正毅殿

樺太守備隊司令官楠瀬幸彦

大官

明治三十九年十月十日

秘甲第二六號
本島漁場ニ關シチリ、エリ、クラマレンコ代
理人ジヨージ、ペリ、デンビーヨリ民政長官宛
ニテ別紙甲号ノ通リ請願書提出ノ處
本日付ヲ以テ別紙乙号ノ通リ民政長官
ヨリ却下致度ニ付此段及報告度也

領

滿蒙事務第三四二號

十月十八日

樺太守備隊司令官楠瀬幸彦

大官

大官

樺太守備隊司令官楠瀬幸彦

大官

大官

十月廿二日

大官

廿二日

代宛慶官

4090

お城に先頃より旨し同行返成お

申上

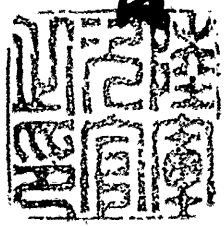
しるべき

石本屋守少

珍白外給少及版

明治二十九年十一月二十日

あま 主管 取調 録



乙 席

チリ、エリ、クラマレンコ

代理人

シヨージ、ペリ、デンビー

本年八月三十一日付請願チリ、エリ、クラマ
 レンコノ本島漁場ニ関スル件ハボリツマウス
 條約第十條ノ規定ニ該當セズ随テ何等
 損害賠償ヲ為スベキモニアラズ又露國
 政府ガ嘗テチリ、エリ、クラマレンコニ與ヘタ
 ル漁業許可狀騰本ニ記載スルガ如キ性
 質ヲ有スル漁業ニ對シテハ其儘之ヲ繼
 續許可スベキ限リアラズ
 別紙委任狀ハ還付ス

0509

明治三十九年十月

華文民政署民政長官熊谷喜一郎

甲 辨

0510

以書轉致該上候陳者在東京幕府國公使ノ訓令ニ依リ露
 國政府ヨリ「クラマレン」氏ノ許諾セラレタルハ島津氏
 權利謹復奉儀ノ譯又相呈シ候右ハ貴國政府ニ於テ表
 認シ全人所屬財產ヲ返付シ又々權利謹記載條件ノ如ク
 未了ノ期間漁業結復許可相成可ク哉尚ホボ「クラマレン」氏
 約等結條ニ違反シ全人漁場ヲ他ニ貸付シタル為ノ過去漁場
 向、於ケル損害ハ如何ナル方法ニ依リ賠償可相成哉併同各相
 取度無シ「クラマレン」氏代理委任狀提供致同便置（代理委任狀）
 御還送移下度故取所候是得貴意候 敬具

是年八月廿一日

「クラマレン」

代理

陸軍

シヨージンブーテンブー

A. D. Demkoff

Attorney for O. A. Kuznetsov

樺太民謡界長官

熊谷善一郎

妻下

~~Wetmore, 31st August 1934~~

譯文

委任狀

秋元通訳印

ゲヲルギー、フイリポウ井ヶ殿

今般日本ニ讓英シタル樺太南部ニ於ケルハ生漁業、及ビ
 極東露露領、或ハ外國ニ於テ小生ニ關係スル總テノ事件ニ
 關シ爰ニ貴下ニ其支配、監督、及ビ処分一任ス是ニ付
 キ官務、領事館、公使館、大使館、其他ノ露國或ハ他國ノ
 官務ニ對シ貴下ノ配慮ヲ一任ス、若シ必要ノ場合ニハ總テノ官
 憲、個人ニ對シ必要ナル請願、請求、申告、証書、証明書
 ヲ呈出シ又凡テノ事件ニ關シ露國國民或ハ外國人露
 國若クハ外國政府ノ官務ト協商ヲナシ尚ホ凡テノ銀行
 事業ニ關シ金銀ノ出納、精算、小切手其他ニ署名スル一ツ

陸

軍

委任ス、又ハ生利益ノ保サ護ニ關シ尾テ必要書類、及ビ証
據ヲ呈出ノ上凡テノ裁判所及ビ行政官憲ニ對シ責下ノ
配慮ヲ乞フ、又茲委任ヲ責下ノ信スル他人ニ委託スルトモ
ハ生ハ是ニ對シ苦情ヲ申問敷儀也

浦隘斯德ニ等商ゲラルグ、フイリポウ井ケ、デニビー、氏ニ於
證書ヲ交付ス

在襲名譽市民ガウリール、アモソウ井ケ、クラマレシコ、氏ノ委任ニ
依テ

ア、ガ、デニビー

函館露西亞帝國副領事タル下名ハ茲ニ左ノ件ヲ証明ス
則々千九百零六年八月三十一日(十日)本館ノ知已ニシテ且ツ法
律上全權ヲ有スルアリフレド、ガラルギエウ井ケ、デニビー、ハ本
館ニ面會ノ上、千九百零五年十二月一日バテルブルグ公証人
メレケエ

ハラハノーフノ公託ヲ經タル在籍名譽市民ガウリール・アモリウ
 井ケ、クラマレニコヨリ今人ハ先タル委任状ヲ呈供シ尙本文ノ
 要項ニ依リ本官立會ノ上本委任状ニ署名シ且ツ之ヲ交附
 セリ依テ茲ニ官印ヲ押捺ノ上之ヲ証明ス
 登記簿第六号ノ記録簿第六十五号ニ及テ記シ、手数料
 三留、訖券印紙税一留計四留ヲ納付セリ

一九〇六年八月三十一日(十八日)

函館 帝國副領事 トラウトシヨリド、

(官印)

陸

電

謄本寫し翻訳

契約書

千九百年八月三十日「サカレ」島軍務知事陸軍少将リヤフ
「ハ」閣議決定ノ上、千九百年二月四日敕裁ヲ經テ、規
定ニ基キ「アストラハン」平民ガウリールアモフーフクラマレンコト
左ノ契約ヲ結ブ

一、「アストラハン」平民ガウリール、クラマレンコトニ千九百十年一月
一日迄サカレ島ニ於テ魚撈及水産物製造ノ為メ「ア
ニ」ワ及ビ「テ」ルパーニ「湾」ニ於テ左記ノ箇所ヲ貸付ス
イ、ポロナヤ河分譯

按綱場四箇所 地區九箇所

此全面積ハ四「テ」シヤチ一ハ八百平方「サ」センニシテ細
別スレバ左ノ如シ

陸軍

第一、パールワヤ、パールゲ、湾地区四箇所、全面積ニ「デシヤ

チーナ」

第二、同湾内投網、支場ハロソシエヤグバニニ箇所アリ

各投網場毎ニ二百平方「サーゼ」ノ地区アリ

第三、ホロナヤ、河投網場ニヶ所ハ、河口ヲ距ル一露里ノ

河一區ヲ含ム、一投網場毎ニ二百平方「サーゼ」ノ地区

アリ別ニ此河口ニ近ク、其右岸ニ「サ」ニ「デシヤチーナ」ノ

地区ヲ有ス

只、「ア」ニ「エ」湾ニ「エ」

第一、「サウ」ニ「パー」ニ「エ」湾

二千四百四十平方「サーゼ」ノ地区ヲ有ス

湾ニ接近シテ補助區即チ「ウ」オ「エ」ウ「ド」ス「カヤ」

四百八十平方「サーゼ」ノ地区ヲ有ス

「ウ」オ「ド」

千七百五十平方サーゼンノ地區ヲ有ス

北海峯線長二百五十サーゼン

第三ニデシヤチーナノ地區ヲ有ス「リヤトヨリ」湾及ヒ之ニ

隣接セル「アムル」河

千六百平方サーゼンノ地區ヲ有ス

ハ「デル」パーニヤ湾ニ九海面區

面積二百平方サーゼン宛、投網場ヲ有ス

内三箇所ハ「ホロ」チヤ河ヨリ左ハ五露里半、六箇所

ハ「河」ヨリ右ハ七露里

以上ノ地區及ヒ投網場ハ自然ノ條之ヲ「クラマレ」ニ貸付

セラル、ソ「クラマレ」ニユケ之カ為メ派遣セラレタル區劃

者ヲ自舟具ニテ貸與區域ノ振興ニシテ要ス

作製セラレタル「圖」ハ之ヲサカレン島軍警知事ニ於テ官

署ニ保管シ其証明書ノ謄寫「圖」ヲ「クラマレ」ニ附

陸軍

獎スモノトス但シ騰馬費用ハクラマレシユノ負担
トス

二 前条ニ示シタル地區及投網場ハ千八百九十九年一月

一日ヨリ起算シ借用期限ノ前六箇年ハ之ヲ魚債ニテ

クラマレシユノ使用ニ委スベシ前記期限内ハ日本製

造方法ニ依ル鱧糶及他ノ魚類ノ製造品ヲ除キクラ

マレシユハガカレシ島ヨリ輸出スル水産品ノ税金及シ漁業

上必要ナル資材木材及燃料ノ爲メ其近傍ノ指定セラ

タル場所ヨリ得タル木材ノ代金ヲ免除セラルベシ但シ

鱧糶製造ノ爲メ使用シタル燃料ハ千八百九十九年一月

一日沼尾龍江州軍務知事制定シタル表目ニ依リ

之ヲ支拂フベキモノトス

其他クラマレシユハ借用期限内ハガカレシ島山沼岸

漁業ニ関シ官憲ノ制定シタル又ハ制定セラルルヤキ規則
ヲ遵守スマシ

免稅借用期限經過後即ケ九百五年一月一日以後ノ借
用期限中ハクヲマレシハ税金其他制定セラレタル公課
ニ關シテハ千八百九十八年五月二十七日閣議決定ノ上敷裁ヲ
經テ規程ニ基キ漁業ノ爲メ商人一セソノフ、イデレビニ
漁區貸付ヲ許可シタルト同条件ヲ遵守スマシ即ケ本
契約ノ第一條ニ指名セル漁區使用料トシテ借用區面
積一平方サ一セシ毎ニ一哥宛合計二百三十二哥七十哥
ヲ一箇年前即ケ若借用年度一月十五日迄ニ國庫ニ納
付スマシ

又漁期經過後其年ノ十二月三十一日迄ニ借用年度ノ終末ニ
獲得シタル魚類及水産製成品ノ數目量ニ對シ官憲ノ制定

陸

軍

一、先ん又ハ制定セラル可キ公議ヲ糾付ス可シ、營業上使用
 二、先ん本邦ニ對シテハ他ノ露國人ト同等ニ支拂フ可シ
 三、借用人ハ他方人民ガ自己使用ノ為メノ海産事業及ビ官署
 四、ヨリ海産採集事業其他一般海産事業ノ權利ヲ附與セラル
 五、キ凡テノ營業業者ヲ妨害シ且ツ同人ニ償付セラルル
 六、岸ニ於ケル海岸道路ノ使用ヲ妨害スルヲ得ス
 七、四、借用人ハ本契約書ニ指定セラレタル澳區ニ於テハ借入
 八、最初五箇年ハ労働者數ノ壹割減額ノ年ハ壹割五公
 九、以上ノ露國臣民ヲ借用スルハ、若シ借用人ノ營業ニ
 十、際シ露國臣民労働者ガ指定歩割ニ相違セラルトキハ
 十一、借用人ハ不足労働者一人ニ付ツノ營業者ニ付ルル露國
 十二、労働者ノ平均賃銀ノ二倍ニ相違スル罰金ヲ露國
 十三、ニ納付スルハ營業地ノ事務管理ハ露國ノ露國人ノ

手ニ依リテ為サルヲ要ス

五、演業期中、労働者ノ治療ノ為、ノクヲマレニコハ自費
ヲ以テ十一箇所ノ管業區ヲ有スルベシヤ、湾ニコルサニ
州區ノ指定セルサ、藥劑及医療材料ヲ購ハ置テ、又十
ノ工口ニ村及ビ、ノケフメネーフスキニ在ル監獄署附看護
護長ニ漫期中一箇月五十留ヲ支拂ヒ、医療ヲ求ム
マレ、同看護長駐在所閉鎖ノ後、ノクヲマレニコハ自費ヲ
以テ看護長ヲ給養シ置クコトヲ要ス、但レ、アエワ湾管
業地ハ、コルサニフ港ヨリ近距離ニ存在シ、同港ニハ、市ニ
監獄醫院、市置シアルヲ以テ、同管業地ニハ看護長一配
置スルノ義務ナキモノトス

六、ノクヲマレニコニ貸付シタル區域、人地、長管國有、獸生
労働者ノ認可、及ビ、ノカレシニ、島軍務署ノ承認在ルニアラ

陸軍

七、他人又ハ敷多他人ニ譲渡ヲ許可セラルザルモ、
ヲマレシヨトノ事業權擴張ノ為メ共同者ヲ採用スルコト
ハ禁止セラル、コトナシ

七、借入契約期限経過後ハ契約期限終了前二箇年以
内ニ借入継続ノ希望ヲ申出タル場合ニ限りテマレシ
コトニ該區域借入ノ新契約ヲ官憲上結ルベキ優先
權ヲ附與セラルベシ

八、借入人ハ後日漁業場ヲ賃借保有セザルニ至ルトキハ後
継者ニ該事業建築物ハ相互協定ノ上相互ノ代價ヲ以テ
シテ譲渡スルコト該後継者ハ之ヲ必ズ継承スルノ義務ヲ有ス
ルコトナシ

若シ借入人ト後継者トノ間ニ該物件ニ異存シ圖滿ナル
協議調ハサルトキハ双方ヨリ借入人其區域ヲ賃借保有

セザルニ至リタル日ヨリ三箇月以内ニ招議不調ノ原因ヲ詳
 細ニ具シテ呈請江相國有財産管理署ニ届出ツテ、且
 ツ同時ニ其核定シタル件数ノヲ核定スルヲ要ス、然レトキハ管
 理署ニ同ラテラ調停シ、又ハ他ニ調停ヲ委托シ該件数人
 ノ評價ニ依リ建築物ノ價額ヲ決定セラル、モノモ但シ
 官憲ハ斯ル建築物ヲ受ケルノ義務ナキモノナリ
 九、一クラマレニ此ノ企業ニ際シ外國人ノ關係者トシテ加
 入セシメタルトキハ一クラマレニハ其獎ハ、凡テノ免稅權
 及ヒ他ノ外國人又ハ露國企業者ヨリモ優等ナル特權ヲ
 與ヒ且ツ備用區域ノ經營權上ニ付テハ、廿カレニ、且山嶺等ノ
 爲メ政府ヨリ發布セラル、及ヒ發布セラル、ヤキルテノ
 規定ニ從フ、ヤシ

十、免稅供用期限六箇年 經過後、凡テ九百五年一月

陸 軍

一、自以後本契約第二章之三ノ期限中ニクラマレシ
 ハ土地使用料、奥税及奥産物税ヲ國庫ニ納付スル
 事、其ノ滞納シタルトキハ斯レ場合ノ為メ法律ヲ以テ
 定メラレタル千八百九十三年泰布ノ納税条例第八編
 第一章第七十、七十一、七十二、七十三條及ヒ其他ノ各項ヲ適
 用シ罰金ヲ課セラルレ但シ納税最終期限ハ三箇
 月以上ヲ延長スルヲ得ル

十一、免稅借入ニ箇年ノ終期迄ニ即チ千九百五年一月一
 日ニクラマレシコトハ本契約ニ依リ借入レタル全區域ニ
 對シテ開始シテ國ノ常備者居住ノ為メ必要ナル一時的又
 永久的ノ屋舎ヲ建築スルヲ要ス
 前項ノ要件ヲ履行セザルトキハ借入人ハ指定シ
 タル期限ニ至リテ營業ヲ開始セラレセ區域又ハ居住ノ為

必要ナル屋舎ヲ建築セラル区域ヲ使用シ得ルに至ル
アリ

其他在區域集会所ノ中失タルべき地点ニ獲得シタル
産物、澳具及其他産業上必要ナル物件ヲ保存スル為
メ昭和六年九月倉庫ヲ建築スルヲ要ス

十二、コカラマレニヨリ本契約ノ各条項ヲ嚴重ニ且ツ誠實
ニ遵守スルハ勿論其中ノ一事項タリ此遵守セサルトキ
ハ契約不履行ト看做スルマシ

前項ノ場合ニ於テハ免稅借用六箇年即チ千九百五年
迄ハコカラマレニヨリ其借用セル区域ノ營業權ヲ失フハ
レ但シ違約金ヲ納付スルニ及ハスト附テ借用區域
ニ建設セル九ノノ建築物ハ本契約第八條ノ規定ニ基
キ繼承者ニ譲渡スル義務ヲ有ス免稅借用年限

陸軍

エアヲガハル域條ノ備用年期中ニ於テハ前記ノ外ニ五連
 約金トシテ五連約年度ニ對シテ其備用價金ノ三倍ノ
 金額即チ六百九十八圓十哥リ納付スベシ但シ納付レ得
 恩揚合ハ區域内ノ運築物及ヒクヲマレシコニ所屬セシ
 營業物ハ官ニ沒收セラルマシ
 十三、本契約締結ニ要スル費用及ヒ契約記載ノ証券
 用紙ノ代價ハクヲマレシコノ負擔タルマシ
 十四、本契約ノ原本ハ加カレシ島軍務知事ニ於テ之ヲ官署
 ニ保存シ證明書ノ契約原本ヲクヲマレシコニ交付ス
 原本ニ加カレシ島軍務知事陸軍少將「リヤブ」ノ
 白及「ア」ト「ラ」ハ「平」民「カウ」リ「ン」ク「ヲ」マ「レ」シ「コ」ニ署名ス
 本勝率ハ原本ト相違ナシ

官署代理事務官署名

No 652

EP
1 no 50k.

This is to certify that the above trans-
 action has been made by Subject's immediate
 superior of His Consulate
 Imperial Russian Consulate, Japankate,
 August 28th 1904

W. T. Mutookata

署

署

代理事務管理官志控署名
 契約書ノ本贖本ハ「アストラハ」平民ガウリールシラマ
 レニニ交付シタルコトヲ「ガカレ」島軍務知事ハ官印ヲ
 押捺シテ茲ニ之ヲ証明ス

官署代理事務官署名

代理事務管理官署名

千九百零八年八月三十日第六八六号

印

H. J. R. M. Vice Consul.

0528

手
紙
封
筒

機密送第一四二號

本月二十五日河内守之丞成之權頼様へ
係り合言官報告書別紙甲より請願書委
任状譯文之不審ノ虞相欠片ノ因り
委任状原文を急ぎ以政署より取寄り上
月御付成之様收交高クテマレシコノ契約
書原文を以政署に提出せ成片多ク
同様至急河内守より河内守成之様收交
此段は伝承申進也
明治十九年十月三日

外務次官 陸田 拾遺

陸軍次官 石本 新六 殿

外務省